

平成28年度事業報告

公益財団法人交通文化振興財団

平成28年度は、京都鉄道博物館が開業初年度となり、年度初から報道公開や内覧会、英国国立鉄道博物館との姉妹提携継続調印式、開業式典などを実施した。4月29日のグランドオープン以降は、案内体制や警備体制を整え、安全で快適な館運営に努めるとともに、企画展や各種イベントを実施し、多くのお客様にお楽しみいただいた。その結果、当年度の有料入館者数は1,416千人となった。

事務局においては、資料についての収集、保存、調査、研究業務を継続的に行い、資料の散逸防止と後世への継承に努めるとともに、ブログによる情報発信や寄附金懇話活動などを開始した。

I 博物館運営等を通じた交通文化の振興

1 京都鉄道博物館

(1) 常設展示

ア 新規展示

- ①本館2階「鉄道ジオラマ」にEF65形(9/1)、HOT7000系(12/3)
- ②本館1階「Ⅲ施設(踏切)」に踏切安全の映像追加(11/17)
- ③本館3階資料室回転書架及び子供向け図書の設置(3/26)

イ 展示品整備

マルス体験装置の修繕、鉄道ジオラマの模型車両のモーター・台車の整備調整等、「列車を安全に走らせよう」の車両及び線路メンテナンス、0系・スロネフ25形等実物車両の車内清掃、「動力の伝達」歯車オーバーホール、体験装置類のメンテナンス等

ウ 施設、設備工事

- ①消防設備、空気環境測定、水質検査測定等の定期点検対応
- ②引込線大扉修繕、空調設備配管修繕、雨水桝の拡充等整備等の建物設備修繕対応
- ③ジオラマ観覧場の手摺撤去(7/13)及び簡易ベンチ設置(12/21)
- ④館内休憩用簡易ベンチの設置(10/26)
- ⑤館内案内サインの追加(12/21)
- ⑥本館1F車両工場東側の線路保護用鉄板設置(3/22)
- ⑦本館中庭休憩場所に人工芝敷設(3/24)

(2) 企画展、資料展

ア 企画展等

- ① 開業記念特別展「京都鉄道博物館ができるまで」(4/29～7/3)

京都鉄道博物館ができるまでを、交通科学博物館及び梅小路蒸気機関車からの「過去」、京都鉄道博物館の建設や実物車両輸送、開業に至るまでの「現在」、今後の活動の「未来」に分けて、パネルを中心に紹介。また、VR技術を使用して交通科学博物館の展示を疑似体験できる体験型の展示を行った。

② 企画展「The Sleeper Train ～寝台列車の軌跡～」(10/8～1/31)

日本における寝台列車の歴史や当館に展示している寝台車両について、模型やヘッドマーク、備品などの資料とともに紹介。JR各社の豪華寝台列車の魅力も、映像や模型などで紹介した。また、期間中は展示機関車に寝台列車のヘッドマークを掲出した。

イ 資料展等

- ① 「英国国立鉄道博物館姉妹提携～引き継がれる交流～」(4/29～7/24)
- ② 「鉄道公安～治安の維持、安全な鉄道輸送に尽力した人たち～」(8/1～9/30)
- ③ 「かつての駅の風景」(10/8～12/29)
- ④ 「写真で振り返る京都市電」(1/14～3/20)
- ⑤ 未来への伝言「タイムカプセル・メッセージカード」(4/29～9/30)

ウ 部外協力展

- ① 「京都大学鉄道研究会写真展『鉄道のある情景』」(10/8～18)
- ② フジフィルム「30,000人の写真展」(10/29～11/6)

(3) イベント等

ア 開業記念式典(4/28)

イ 英国国立鉄道博物館との「姉妹提携継続調印式」(4/28)

ウ 開館記念特別硬券の配付(4/29～)配布枚数5万枚

エ 夏休みイベント「夏のワンダーフェスタ」(7/21～8/31)

子供から大人まで楽しく京都鉄道博物館の展示や施設を知ってもらうことを目的に、「スタンプラリー」、「ウメテツ記念撮影会」、「グランクラス座席体験」、「ぬりえハガキで暑中見舞い申し上げます」等を行った。

オ 秋のイベント「京都鉄博 ワンダーオータムフェスタ！」(9/24～11/6)

子供から大人まで幅広い層に鉄道を通して学ぶ楽しさを感じてもらうことを目的に、「学びの秋！難問突破、鉄道博士を目指せ☆クイズラリー」、「写真教室」、「駅弁大会」、「SLをみんなで引っ張ろう」等を行った。

カ 冬のイベント「京都鉄道博物館 冬のワンダーフェスタ！」(12/3～1/9)

冬の時期ならではの博物館を楽しんでもらうことを目的に、館内の装飾(12/3～1/3)や、「クリスマスミニヘッドマークを作ろう！」、「クリスマスコンサート」、「SLナンバープレート拓本取り」、「新年扇形車庫SL頭出し展示」等を行った。

キ 「鉄道ワンダートリックアート展」(2/19～4/16)

特別展示イベントとして、人の目の錯覚を利用した“トリックアート”を活用し、本物そっくりに見える京都駅やSL検修作業などをテーマにした作品を展示した。

ク グランドオープン1周年記念イベント「おかげさまで1周年 鉄道の楽しさ大発見！」(3/24～)

グランドオープン1周年の記念イベントとして、平成28年度内には、「500系新幹線車内公開」、「ミニ500系新幹線運転会」、「和ろうそくに鉄道を描こう！」、「国鉄ハイウェイバス1号車特別展示」等を行った。

ケ 「233形蒸気機関車重要文化財指定」記念式典及び記念講演会(10/14)

- コ 「やんちゃフェスタ」に協力 (10/29)
梅小路公園にて当館のPRを目的に、ジオラマ体験会の実施とウメテツ登壇を行った。
- サ 京都鉄道博物館入館者 100 万人達成記念セレモニー (11/12)
4 月 29 日のグランドオープンからの入館者数 100 万人突破を記念したセレモニーを行った。
- シ 「梅小路 キッズアートキャンパス」に協力 (11/23)
地域連携を目的として、下京区安寧小学校跡地にて「ミニSLの運転体験」を行った。
- ス 「サイエンスフェスタ」に協力 (2/4)
京都市青少年科学センターにて科学の振興を目的に、ジオラマ体験会を実施した。
- セ 「京キャラ博」に協力 (3/18)
京都国立博物館にて当館のPRを目的に、ジオラマ体験会の実施とウメテツ登壇を行った。
- ソ 「鉄道パラダイス」に協力 (3/18～20)
京都駅ビルにて当館のPRを目的に、ジオラマ体験会の実施とウメテツ登壇を行った。

(4) 定例行事・活動

- ア 鉄道ジオラマの運転 : 1,681 回
- イ SL スチーム号の運転: 運転回数 3,653 回
乗車人員 467,017 人 (128 人/回)
- ウ ミニSL・ミニ500系運転会: 運転日数 9 日

(5) 広告・宣伝・誘致活動

項 目	数 量
ア ポスターの掲出	
(ア) JR 駅貼り	(6 回) 4,005 枚
(イ) 近畿圏主要博物館・交通関係博物館	(6 回) 800 枚
イ 催し物案内チラシの配布	
(ア) 近畿圏の JR 駅	(6 回) 177,615 枚
(イ) 近畿圏主要博物館・交通関係博物館	(6 回) 48,580 枚
ウ マスコミへのパブリシティの配布 (関係記者クラブ、出版関係各社等)	毎月合計約 70 箇所へ配布
エ 誘致活動	
(ア) ホームページアクセス件数 (2016.4.1～2017.3.31)	3,630,379 件 (1 日平均 9,946 件)
(イ) フェイスブック投稿件数	141 件 (1 ヶ月平均 11 件)
(ウ) マスコミ取材対応	155 件

(6) 教育普及活動

ア 教育普及活動の実施

- ①京都市の夏休み小中学生エコバスツアー協力 (7/27)
- ②京都市内小学校向け学習プログラムとして教科単元に合わせた観察と実験を実施 4回4校
- ③職場体験学習の受け入れ 中学校3校5名 (11/7～11)
- ④小学校課外授業の受け入れ 梅小路小学校の4年生の調べ学習を受け入れ
梅小路小学校の5年生の職業学習を受け入れ
梅小路小学校の3年生の調べ学習を受け入れ

イ 館内視察等への対応

- ・交通協力会 (8/4)
- ・名古屋市科学館 (8/16)
- ・日本鉄道保存協会 (10/21)
- ・大阪府高校研究会 (10/28)
- ・韓国又松大学 (11/15)
- ・追手門大学 (12/10)
- ・津山まなびの鉄道館 (1/10)
- ・札幌市交通局 (1/20)
- ・呉市海事歴史科学館 (3/9)
- ・大邱広域市 (2/18)
- ・関西博物館研究会 (3/5)

(7) 博物館関係コミュニケーション活動等

- ア 全国科学博物館協議会「平成28年度第1回総会」出席 (6/9～10 於：国立科学博物館)
- イ 日本博物館協会主催「平成28年度全国博物館大会」出席 (11/16～17 於：群馬音楽センター)
- ウ 全国科学博物館協議会「平成28年度第2回総会」会場及び出席 (2/16～17 於：当館)
- エ 第20回京都市内博物館施設連絡協議会「京都ミュージアムロード」参加 (1/26～3/20)
- オ 京都科学屋台ネットワークスタンプラリー (11/1～3/31)

(8) 入館者数の状況 (入館者数の詳細は「別表1」のとおり。)

(単位：千人)

項目	京都鉄道博物館
平成28年度	1,416

※平成28年度は4月29日から3月31日

2 文化遺産調査及び交通資料の収集、保存に関する事項

交通に関わる文化遺産の調査や歴史資料の収集・保存については、交通文化の継承と資料の散逸防止及び今後の公益活動の充実のため、財団事務局にて活動が続けてきたが、平成28年度についても引き続き、財団事務局において交通に関わる文化遺産の調査及び交通資料の収集、保存を行った。

(1) 文化遺産調査

日本各地に残された交通に関する施設や建造物、車両、文書等の文化遺産について、文化遺産の現状確認と来歴や諸元等を記録保存するための現地調査及び文献による事前事後調査を実施し、文化遺産の後世への継承に努めた。また、JR西日本管内に残る鉄道文化遺産に対して来歴や現状確認などの詳細を調査し、調査の結果を基に有識者と共にJR西日本に対し文化財指定へ向けた提言を行った。

ア 調査事物： 19件

イ 登録鉄道文化財：調査18件 指定16件

(2) 交通関係歴史資料の収集・保存

交通に関わる歴史資料を適切な環境で保存、管理するため、収集、整理・整備を行った。また、写真資料を中心に収蔵資料のデジタル化作業を実施した。

ア 図書・資料の購入 317点

イ 受贈 5件 5,795点

ウ 資料・図書の整理・登録 4,996点

エ 資料のデジタル化 9,000点

(3) その他

- ・財団ホームページの「事務局ブログ」を活用し、調査の結果や様子、収集資料に関する情報発信を行った。
- ・嶺南広域行政組合（福井県）と文化遺産の活用について意見交換会を開催した。
- ・資料寄贈のお願いをホームページ及びチラシ配布にて行い、資料の散逸防止に努めた。
- ・収蔵資料の公開等の利活用策の検討のため、専門図書館等の視察を実施した。
- ・部外の学識経験者の講演会に参加し、文化財等に関する知識の習得に努めた。

II 財団運営に関する事項

1 本年度の役員等の異動

(1) 評議員

《退任》 来島達夫、高橋 眞 以上 平成28年7月15日付

《新任》 石川明彦、緒方文人 以上 平成28年7月15日付

(2) 理事

《退任》 真鍋精志、石川明彦、倉坂昇治、古宮洋二 以上 平成28年7月15日付

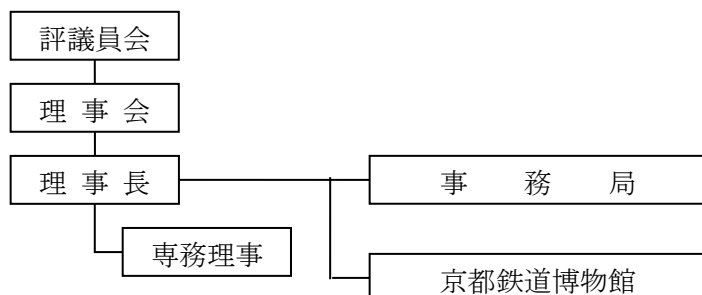
《新任》 来島達夫、北野 眞、白石敏男、廣川昌哉 以上 平成28年7月15日付

平成29年3月31日現在の評議員、理事、監事、顧問は、[別表2]のとおりである。

2 財団組織

(1) 組 織

(平成 29 年 3 月 31 日現在)



(2) 構成員

(平成 29 年 3 月 31 日現在)

事業所名	職 員	嘱 託	計
事 務 局	3	—	3
京 都 鉄 道 博 物 館	21	1	22

- ・ 役員を除く。
- ・ 京都鉄道博物館の職員に J R 西日本への出向職員 1 名を含む。
- ・ 京都鉄道博物館の職員のうち 6 名は J R 西日本からの出向者。
- ・ 京都鉄道博物館の職員のうち 4 名は事務局兼務。
- ・ 上記以外に事務局にて臨時雇用員を 3 名雇用。

(3) 会 議

ア 評議員会

第 11 回評議員会 (定時評議員会)

(ア) 日 時 平成 28 年 6 月 13 日

(イ) 場 所 ホテルグランヴィア大阪

(ウ) 目的事項

① 決議事項

第 1 号議案 平成 27 年度決算の件

第 2 号議案 常勤理事の報酬額の決定の件

② 報告事項

報告 1 平成 27 年度事業報告の件

第 12 回評議員会 (みなし決議)

(ア) 提案者 代表理事理事長 真鍋精志

(イ) 提案の内容

第 1 号議案 評議員選任の件

第 2 号議案 理事選任の件

(ウ) 決議があったとみなされた日 平成 28 年 7 月 15 日

イ 理事会

第 20 回理事会

(ア) 日 時 平成 28 年 5 月 23 日

(イ) 場 所 ホテルグランヴィア大阪

(ウ) 目的事項

① 決議事項

第 1 号議案 平成 27 年度事業報告の件

第 2 号議案 平成 27 年度決算の件

第 3 号議案 第 11 回評議員会（定時評議員会）の招集の件

② 報告事項

報告 1 職務執行状況報告の件

報告 2 西日本旅客鉄道株式会社に係る代表理事理事長の利益相反取引の報告の件

第 21 回理事会（みなし決議）

(ア) 提案者 代表理事理事長 真鍋精志

(イ) 提案の内容

第 1 号議案 第 12 回評議員会招集の件

(ウ) 決議があったとみなされた日 平成 28 年 7 月 7 日

（監事による異議（定款第 38 条第 2 項）なし）

第 22 回理事会（みなし決議）

(ア) 提案者 代表理事専務理事 三浦英之

(イ) 提案の内容

第 1 号議案 代表理事理事長の選定の件

第 2 号議案 理事の職務権限規程の一部改正の承認の件

(ウ) 決議があったとみなされた日 平成 28 年 7 月 22 日

（監事による異議（定款第 38 条第 2 項）なし）

第 23 回理事会

(ア) 日 時 平成 29 年 3 月 3 日

(イ) 場 所 ホテルグランヴィア大阪

(ウ) 目的事項

① 決議事項

第 1 号議案 平成 29 年度事業計画書の件

第 2 号議案 平成 29 年度収支予算書の件

第 3 号議案 平成 29 年度資金調達及び設備投資の見込みの件

第4号議案 資金運用規程の制定の件

② 報告事項

報告1 職務執行状況報告の件

第24回理事会（みなし決議）

(ア) 提案者 代表理事理事長 来島達夫

(イ) 提案の内容

第1号議案 特別寄附金受入れの件

第2号議案 西日本旅客鉄道に係る代表理事理事長の利益相反取引の承認の件

(ウ) 決議があったとみなされた日 平成29年3月25日

(監事による異議（定款第38条第2項）なし)

(4) 内閣府へ届出

・平成28年4月19日 変更の届出

「主たる事務所の所在場所の変更」

・平成28年6月30日 事業報告等の提出

「平成27年度財産目録」「平成27年度貸借対照表」「平成27年度正味財産増減計算書」等

・平成28年8月10日 変更の届出

「役員等の名簿」「履歴事項全部証明書」等

・平成29年3月29日 事業計画書等の提出

「平成29年度事業計画書」「平成29年度収支予算書」「平成29年度資金調達及び設備投資の見込みについて」、「第23回理事会議事録の写し」

3 寄附金の受入れ

個人及び法人より寄附金の申し込みがあり、下記のとおり受入れた。

一般寄附金 個人9件（うち継続寄附2件）

特別寄附金 法人1件

4 その他

(1) 財団ホームページの改訂

トップページデザイン変更、財団活動紹介ページの追加、寄附金のクレジットカード決済機能追加等（12月）

(2) 財団事務局ブログ開設・運営（11月）

・更新22回、累計5,133PV

(3) 寄附金の懇話活動

寄付月間（12月）に合わせて、パンフレットの配布、ブログを通じた寄附の呼びかけを実施した。

Ⅲ 関連事業

博物館来館者の利便に資するとともに、当法人が健全な発展を図るための収益事業として、京都鉄道博物館にて鉄道に関する各種のグッズ、土産品、飲食物などの販売を行い、下記の収益を得た。

単位：円、%

項 目	物品販売収入	営業料収入	計
金 額	6,952,400	34,055,714	41,008,114

[別表 1]

平成 28 年 4 月 29 日～平成 29 年 3 月 31 日

	種 別	平成 28 年度 (千人)	
京都鉄道博物館	個 人	大 人	909.5
		大学生・高校生	41.5
		中学生・小学生	152.7
		幼 児	142.9
		計	1,246.6
	団 体	大 人	109.4
		大学生・高校生	3.2
		中学生・小学生	32.6
		幼 児	24.4
		計	169.6
		合 計	1,416.1

[別表 2]

評 議 員 名 簿

氏 名	現 職
石川明彦	東日本旅客鉄道株式会社 常務取締役
稲見光俊	公益財団法人鉄道総合技術研究所 監事
緒方文人	西日本旅客鉄道株式会社 取締役兼常務執行役員
小田 昇	関西鉄道協会 専務理事
斎藤峻彦	近畿大学名誉教授
坂田正行	公益財団法人 J R 西日本あんしん社会財団 特別参与

理 事 名 簿

役 職	常勤 ・非常勤	氏 名	現 職
理 事 長	非常勤	来島達夫	西日本旅客鉄道株式会社 代表取締役社長
専務理事	常勤	三浦英之	公益財団法人交通文化振興財団 専務理事
理 事	非常勤	北野 眞	西日本旅客鉄道株式会社 執行役員広報部長
理 事	非常勤	佐伯 洋	一般社団法人日本鉄道車輛工業会 専務理事
理 事	非常勤	白石敏男	東日本旅客鉄道株式会社 執行役員総務部長
理 事	非常勤	廣川昌哉	九州旅客鉄道株式会社 取締役総務部長
理 事	非常勤	山村晋一	公益財団法人日本交通公社 理事

監 事 名 簿

役 職	常勤 ・非常勤	氏名	現 職
監 事	非常勤	竹山健二	公認会計士
監 事	非常勤	中西 豊	西日本旅客鉄道株式会社 執行役員財務部長

顧 問 名 簿

氏 名	現 職
竹内哲夫	元 財団法人交通文化振興財団 会長

平成 29 年 3 月 31 日現在 五十音順 (敬称略)

平成 28 年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第 34 条第 3 項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しない。

平成 29 年 5 月

公益財団法人交通文化振興財団